



AICJ NEWSLETTER

2024
Oct

AICJ中学・高等学校 〒731-0138 広島市安佐南区祇園3丁目1-15 TEL:082-832-5037

本校は、2009年に西日本第1号の国際バカロレア（IB）DP認定を受けた一条校で、生徒はグローバル社会のリーダーを目指し、学内外で様々な活動に取り組みます。

AICJ Sports Day 体育祭開催 赤組優勝 @広島サンプラザ



赤白応援団長

赤組応援

騎馬戦

AICJブリッジ（中2）

白組応援

クラス対抗リレー

青春を駆け抜ける（高3）高3生は新たな競技に取り組みました。これまでやってきた中1から高2までの競技を盛り込みました。

今年も雨や日焼けを気にすることなく、広島サンプラザで通常通りの体育祭が開催できました。応援団も短い練習時間でしたが、見事なパフォーマンスを見せてくれました。多くの保護者の方々にもご来場いただきました。ご観戦ありがとうございました。結果は赤組の優勝でした。



修学旅行★中3は関西へ

中3は2泊3日の日程で関西方面へ。1日目は京大での模擬講義を聞きました。2日目はUSJで思いっきり羽を伸ばしました。3日目は、宝塚歌劇団を堪能しました。



京大模擬講義

宝塚劇場

USJ

長いスタンバイにもめげず

嵐山の竹林散策

平安神宮
京都



NYに来たならここでパチリ

高2はNYと北海道へ



トマム空知川のラフティング

高2は、北海道は小樽・富良野・知床などを、NYは、メトロポリタン美術館・ケネディー宇宙センター・国連本部などを訪れました。

インターハイ(高校総体)2度目の全国大会出場とベスト8

《全国大会》 **ベスト8**

1回戦：AICJ 3 vs 0 大谷室蘭

2回戦：AICJ 0 vs 2 藤枝順心



船上でももちろん練習

皆さんからの寄せ書き

北海道室蘭で行われた今大会に、バスと船で20数時間をかけて参加してきました。船の中でも筋トレに励み、試合に臨みました。1回戦を勝ち切ることができましたが、2回戦は昨年優勝の強豪校である、静岡の藤枝順心高校と戦い、惜しくも涙のみでした。下を向くことなく、冬の選手権でリベンジできるように、また新たな課題に全員で取り組んでいこうと思います。応援して下さった卒部生及び保護者の方々、大会関係者をはじめサポートしていただいた方々ありがとうございました。今年は、初の皇后杯本選出場も決定しています。

夏休み中のAICJ生たちの海外での活動あれこれ

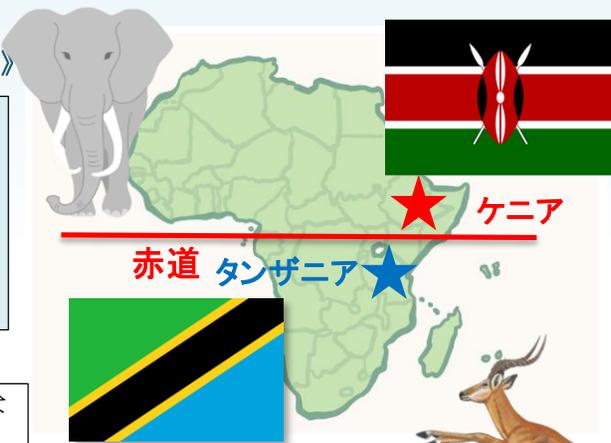
★「トビタテ!留学Japan」に選抜されアフリカのタンザニアへ

《トビタテ!留学Japanとは?》

2014年から始まった、政府だけではなく、官民協働のもと社会総掛かりで取り組む「留学促進キャンペーン」です。コロナ禍により大きな影響を受けていましたが、昨年度から第2ステージトビタテがスタートしています。

《田辺理世さんからの報告》

アフリカのタンザニアで、様々なボランティア活動を行ってきました。貧困や飢餓などマイナスのイメージが、私の中では先行していましたが、実際は生き生きとしていて、全てが危険と隣り合わせの生活でもありません。日本と同じように高水準な教育を受けている子ども達もいました。



幼稚園の子供達に英語・算数を教えたり地域の小学校の修繕をしたりしました。

《高橋遙華さんからの報告》

私は、「トビタテ」企画ではありませんが、この夏、ケニアを訪れました。隣のタンザニアにいる同級生の田辺さんとは、数キロメートルしか離れていない場所にいたことを後から知りました。世界は狭いです。目覚ましい経済発展と共に政治腐敗も問題になっているようです。野生の動物に囲まれる自然保護区の中での生活は、私にとっては非日常ですが、ここでの日常であることも実感しました。



タンザニアとの国境

★姉妹公園協定に基づき本校から2名の生徒がパールハーバーへ派遣

令和5年度に締結した広島平和記念公園と米国パールハーバー国立記念公園との姉妹公園協定に基づき、被爆者2名と5名の大学・高校生のうち高3のトウバル彩果さんと並木陽菜乃さん2名がパールハーバーに派遣されました。

ホノルル市庁舎で



パールハーバー国立公園の管理監督者、Pacific Historic ParksのCEOやホノルル市役所の職員、退役軍人のご家族など、多くのミーティングに参加してきました。

共に過去の歴史を振り返り、今後の日米関係やハワイー広島間の交流事業について話しました。また、現地の学校を複数訪問し、“平和”や“戦争”について議論しました。



ハワイの名門校
プナホウでのプレゼン

“Sadako Peace Project”に参加し佐々木禎子さんの生涯を説明しながら、折り鶴を折りました。

《トウバル彩果さんからの報告》

ヒロシマの学生として、原爆の実相を世界に伝える使命を持っていることを改めて認識しました。そして、未来の社会を考える際、過去の社会を学ぶことの重要性を強く感じました。世界平和というトピックを個人レベルで、そして政府レベルでアプローチしていかなければならないことを強く実感しました。

★[米]ロックフェラー大学院での生物実験への参加

この夏、高2のグエンアイ テリンさんが、世界中の高校生900名以上の応募の中から選ばれた16名の1人としてアメリカNYのロックフェラー大学院で、「Summer Science Research Program-The Rockefeller University」という7週間のプログラムに参加してきました。大学側に滞在費、航空費、食事の費用全てを支払っていただきました。

《グエンアイ テリンさんからの報告》

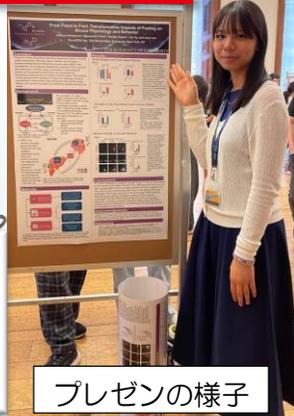
このプログラムを通じて、脳科学の深い知識を学びながら、多くの素晴らしい人々との貴重な出会いを得ることができました。私はSatiety and Hungerに関する研究に取り組み、ネズミの脳を分析しました。このプログラムで出会った仲間は皆、非常に自立しており、知識や経験を共有し合う中で、互いに刺激し合える関係を築くことができ、みんな心から尊敬しあっていました。夏休みにこのような充実した経験を積むことができたことを、心から嬉しく思いますし、今後の学びに大いに活かしていきたいです。



ネズミの実験室前



ネズミの脳



プレゼンの様子